

産学官で 取り組む 健康な まちづくり

大山町民の健康状況をみると糖尿病、心臓病、脳卒中が鳥取県の平均と比べて高く、それらを原因とした死亡率が高いことが分かっています。町では平成27年度から大山町民総健康づくり運動に取り組む、「まったなし、健康づくり」の合言葉のもと、より健康的な生活習慣を持てるよう各種事業を展開しています。この一環として、町民の健康寿命の延伸や医療費等の低減を図るため、地方創生事業の一環として、町と大学、民間運動事業者（㈱カーブスジャパン）が連携して健康意識や活動量の向上及び生活習慣改善に関わる事業があります。

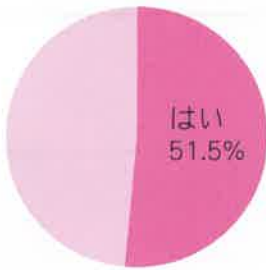


<町・筑波大学・㈱カーブスジャパン>
健康に対するアンケート調査

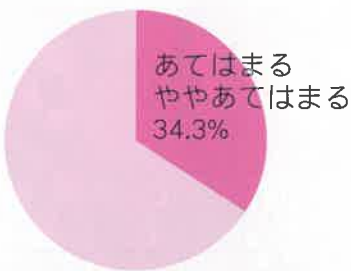
平成27年度に40歳以上の町民1,100人を無作為抽出してアンケート用紙を送付し、健康に関するアンケート調査を行いました。この調査は町やカーブス大山町健康センターの取り組みが、大山町全体の健康意識の向上や医療費等の低減にもたらす効果について検証するものです。

調査は全5回（4年間）行い、その推移を分析した上で、最終的には全ての町民がより健康的な生活を送れるよう町政を通して還元いたします。第1回目の調査は平成28年1月に実施しました。その結果（単純集計）がまとまりましたので、一部をお伝えします。

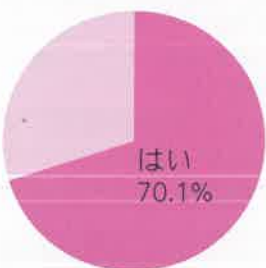
「大山町民総健康づくり運動」を知っている



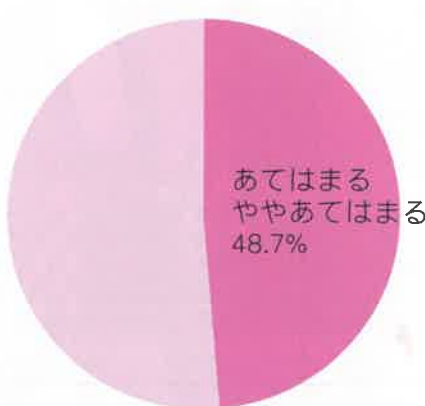
ここ2~3ヶ月間で健康を保つために必要な運動ができている



過去2年以内に健康診断または人間ドックを受けた



健康的な生活を送るために自分なりにいろいろな工夫をしている



対象者	1,100人
回答数	842人
回答率	76.5%
たくさんのご回答ありがとうございました	

出典：株式会社つくばウエルネスリサーチ「鳥取県大山町における健康づくり事業検証コンサルティング業務」単純集計報告書（平成28年3月）

今年度も同様にアンケート調査を行います。対象の1,100名の方には9月末にアンケート用紙をお送りしますので、ご回答をよろしくお願いいたします。